

<b>1</b>	議席番号 1 番 <b>山口 一博 議員</b>	開始予定時刻 12月11日 午前9時
<p><b>【ラーニングプラン事業及び全国学力テストについて】</b></p> <p>平成26年度～29年度までの4年間、当町では「吉田町ラーニングプラン」を進めて来ています。</p> <p>確かな学力向上のために、教師の指導力や授業力向上の授業改善を基盤にして、家庭環境や幼稚園・保育園・地域での取り組みの活性化を目指しました。</p> <p>以上のことを踏まえ、次の質問をします。</p> <p>1 4年間で約6200万円を事業に費やす予定だが、費用対効果はいかほどか。また、この事業を推進しない場合の町への影響は。</p> <p>2 ラーニングプラン事業の最終目標は、今年度の全国学力テストが小・中学校共に全国平均を上回ることを目指したが、その結果や取り組み内容は。また、生活習慣や学習環境等に関する調査結果での因果関係や見立ては。</p> <p>3 ラーニングプラン事業は、今年度から始まったTCPトリビンスプランに、どの様に引き継いでいくのか。</p>		

<b>2</b>	議席番号 1 3 番 <b>藤田 和寿 議員</b>	開始予定時刻 12月11日 午前10時
<p><b>【吉田中学校の学力調査結果と全国との差について】</b></p> <p>町は、平成25年度の文部科学省「全国学力・学習状況調査」の結果の低迷を受け、平成26年度から4カ年計画の「吉田町ラーニングプラン（YLP）」を策定してこれまで取り組んでいます。</p> <p>特に、ベネッセの「総合学力調査」を毎年4月と11月に実施し、結果を教育委員会とベネッセとで分析しています。そして、その結果を基に各学校や公設学習塾などの授業改善へ落とし込むPDCAサイクル体制を構築し、町全体で学力向上に取り組まれています。</p> <p>本年度の結果において、小学校は、YLPの最終到達目標を達成しましたが、中学校は達成することが出来ませんでした。そこで、中学校におけるYLPの成果について伺います。</p> <p>1 YLP実施後、小学校の学力調査結果においては、全国以上であるのに、なぜ、中学校は、毎年度で全国以下となっているのか。</p>		

- 2 小学校第6学年から中学校第3学年までの推移結果も、昨年度から報告されている。YLPの取り組みを受けて成果が出る中学校の結果を、どのように分析しているのか。
- 3 中学校における、全国学力調査結果と町独自の総合学力調査結果との相異点はあるのか。また、総合学力調査結果を、全国学力調査へ生かす取り組みは。
- 4 中学校での授業改善（教師の指導力・授業力の向上）のPDCAサイクルを回し、教員の意識改革は成されたのか。

<b>3</b>	議席番号 5 番	<b>大石 巖 議員</b>	開始予定時刻 12月11日 午前11時
<p><b>【県内一高い国民健康保険税について】</b></p> <p>国民健康保険は、年金生活者や被用者保険に入れない雇用者などが多く加入する医療保険制度であり、収入に対して保険税の負担割合が高いという問題があります。</p> <p>来年度からの都道府県単位広域化により保険税はどうなるのか、被保険者にとって暮らしを左右する重要な問題です。</p> <p>以下について質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 直近の資料（平成27年度）によれば、国保加入者一人当たり平均の国保税は吉田町が県内で一番高い。医療費の水準は県内20位であるにも関わらず、なぜ高いのか。</li> <li>2 県単位広域化により県への納付金は100%の納付義務が生じ、収納率による割増保険料が加算される恐れがあるが、保険税の値上げになるのか。</li> <li>3 賦課方式として医療給付費分は4方式（所得割額・資産割額・均等割額・平等割額）となっている。資産割額については見直す項目になっているが、どういう議論がされたのか。</li> <li>4 子育て支援として18歳未満の子どもに対し均等割額の引き下げはできないか。</li> <li>5 高齢化に伴い医療費が伸びることが予想されるが、これ以上の保険税の増額を抑えるための制度上の改善策はあるか。</li> </ol>			

<b>4</b>	議席番号 8 番 <b>杉本 幸正 議員</b>	開始予定時刻 12月11日 午後1時
<p><b>【富士見土地区画整理事業について】</b></p> <p>富士見土地区画整理事業は、施行してから20年以上経過しています。富士見土地区画整理組合(組合員)は早く事業が終了することを望んでいます。</p> <p>土地区画整理事業の現状はどうか、また、町は組合事務局として今後組合をどのように指導、援助していくのかについてお伺いいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 富士見土地区画整理事業の現状はどうか。</li> <li>2 児童公園は整備するのか。</li> <li>3 富士見土地区画整理組合の町としての対応はいかがか。</li> </ol>		

<b>5</b>	議席番号 6 番 <b>山内 均 議員</b>	開始予定時刻 12月11日 午後2時
<p><b>【災害への備え、避難所と避難訓練について】</b></p> <p>災害への備え、避難所と避難訓練について、伺います。</p> <p>質問の目的は災害に対する意識を高めると共に、災害に対し自分が避難する場所と避難する方法を知ってもらい、災害から自らを守ってもらうことに意識を向けてもらうことです。</p> <p>吉田町地震防災ガイドブックには、洪水・土砂災害・高潮・地震・大火災の避難場所を示す地図と災害別避難場所の適否の凡例が、また、福祉避難所が地図とともに示されています。しかし、新たに吉田町コミュニティ広場「よしきた」が建設され、防災公園には「オアシス館」ができるなど時間の流れとともに状況も変化してきています。</p> <p>一方、地震災害に対しては、地震の直前予知を前提とした大規模地震対策特別措置法の考え方が見直されました。南海トラフ沿いの地震対策は、予知から防災・減災へと向かいます。</p> <p>豪雨災害においては、今までに経験のないような異常気象による大雨の被害が日本各地で頻繁に起きています。中小河川の氾濫や土砂災害を伴う被害が近年特に目立ちます。町の真ん中を縦断する湯日川も例外ではないと思います。</p> <p>これからは、避難経路を含めた多様な避難訓練の重要性がクローズアップされて来ると思います そこで質問をします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 毎年防災訓練を行っていますが、町が求める具体的な目標は何ですか。</li> <li>2 防災訓練は地震に対し重点が置かれています。豪雨に対する訓練も必要と思いますが、いかがですか。</li> </ol>		

- 3 地震防災ガイドブックに示されている通り、地域ごとに災害の種別があり課題があります。課題に即した訓練が有効であると思いますが、いかがですか。
- 4 避難場所の設定は災害別にされていますが、豪雨と地震など同時に起き2次災害を招く可能性が大いにあります。検討はされているのですか。
- 5 避難所の配置にはばらつきがみられます、収容人員にも限界があります。避難タワーのようにブロック設定が必要であると思いますが、いかがですか。
- 6 自主防災会の会長は消防署職員OBや専門知識を持った人を選任し中期的な計画のもと訓練を行うことが効果的であると思いますが、いかがですか。